

第2期沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和3年3月
沼津市

— 目 次 —

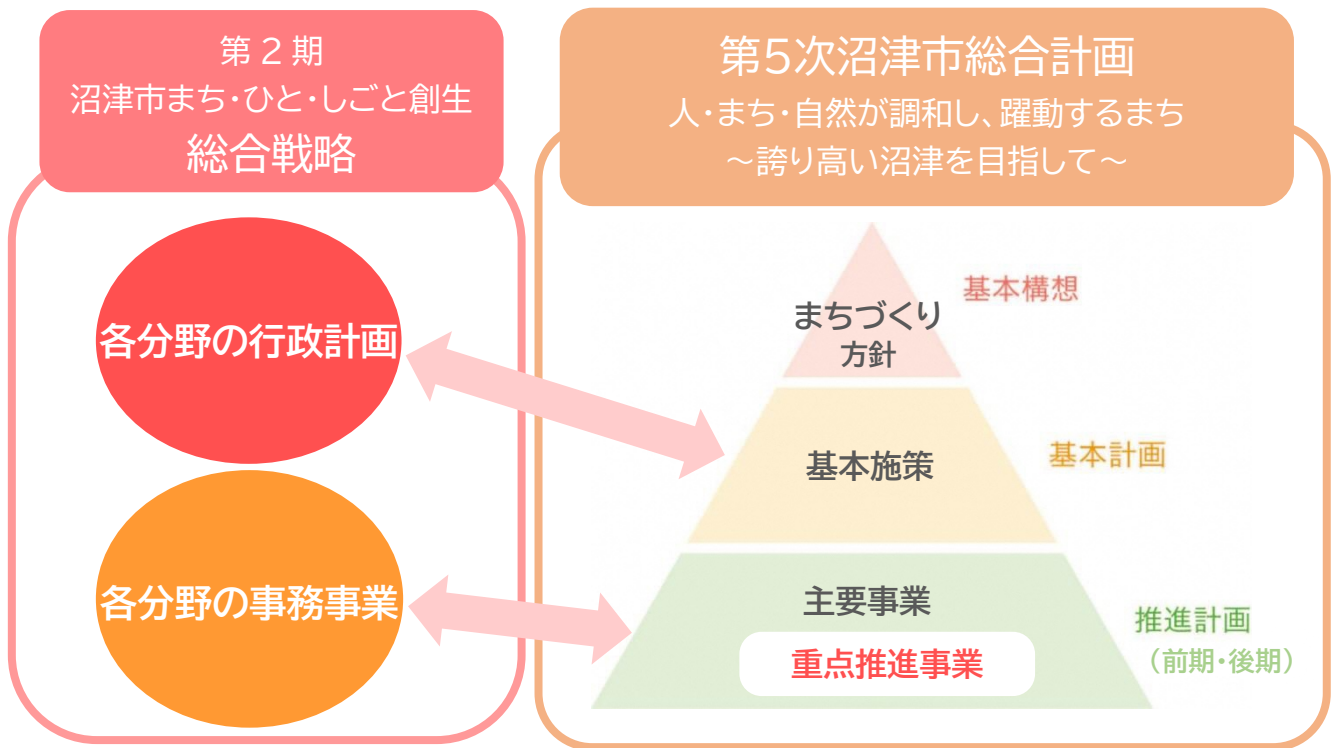
I 基本的な考え方.....	3
1 総合戦略の位置づけ.....	3
2 計画期間.....	3
3 第1期総合戦略の総括評価.....	4
(1)人口動態の改善.....	4
(2)基本目標ごとの取組について.....	5
4 第2期総合戦略の基本的視点.....	7
(1)誰もが活躍できる環境をつくり、若年層や子育て世代の人口増加を促進する.....	7
(2)交通利便性と地域資源を活かし、交流人口や関係人口、移住者の拡大を図る.....	7
(3)若い世代が喜びを感じる暮らしを実現し、新たな時代に向けた教育を推進する.....	8
(4)課題解決に新しい時代の流れも活用しながら、魅力的な地域をつくる.....	8
5 推進体制とPDCAの確立.....	8
II 基本目標.....	9
1 力強い産業を育て魅力ある雇用を創出する.....	9
2 沼津への新しいひとの流れをつくる.....	9
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる.....	10
4 新しい時代に合った、安全・安心で誰もが暮らしやすい地域をつくる.....	10
III 施策の方向と具体的な取組.....	11
1 力強い産業を育て魅力ある雇用を創出する.....	12
1-1 地場産品の競争力強化と地域経済の活性化.....	12
1-2 新たな仕事づくりと雇用の創出.....	14
1-3 地域産業を担う人材の確保・育成.....	16
1-4 立地環境を活かした企業誘致.....	19
2 沼津への新しいひとの流れをつくる.....	20
2-1 まちなか居住の推進と都市的魅力の向上.....	20
2-2 “ぬまづ暮らし”の発信による住み替えの促進、関係人口の創出・拡大.....	24
2-3 観光資源を最大限活用した交流人口の拡大.....	28
2-4 外国人の誘客とおもてなしの充実.....	32
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる.....	33
3-1 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現.....	33
3-2 若い世代の経済的安定.....	35
3-3 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援.....	36
3-4 子ども・子育て支援の充実.....	38
3-5 沼津らしい子ども教育の更なる推進.....	40
4 新しい時代に合った、安全・安心で誰もが暮らしやすい地域をつくる.....	43
4-1 災害に強い安全・安心な生活環境づくり.....	43
4-2 便利で快適な居住環境の整備.....	46
4-3 共に支え合う地域コミュニティの充実.....	49
4-4 新しい時代の流れを活用する.....	53

I 基本的な考え方

1 総合戦略の位置づけ

沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法第10条に規定する本市のまち・ひと・しごと創生に関する目標、講ずべき施策に関する基本的な方向を示すものです。

本市のまちづくりの最上位計画である沼津市総合計画を基本とし、各分野における行政計画と同様に、沼津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンに定める人口の将来展望の実現に向けた人口減少対策に関する取組を定めるものです。



2 計画期間

第1期総合戦略は、2015年度（平成27年度）に策定し、第4次沼津市総合計画の計画期間との整合を図るため、期間を1年間延長しました。

第2期総合戦略の計画期間は、第5次沼津市総合計画の前期推進計画の期間に合わせ、2021年度（令和3年度）から2025年度（令和7年度）までの5年間とします。

年	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
沼津市総合計画	第4次沼津市総合計画						第5次沼津市総合計画				
沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略	第1期総合戦略					延長	第2期総合戦略				

3 第1期総合戦略の総括評価

第1期総合戦略では、人口減少の抑制と流入人口の確保を図るため、「沼津における安定した雇用を創出する」、「沼津への新しいひとの流れをつくる」、「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」、「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」の4つを基本目標に、79事業（重複10事業含む）に取り組んできました。

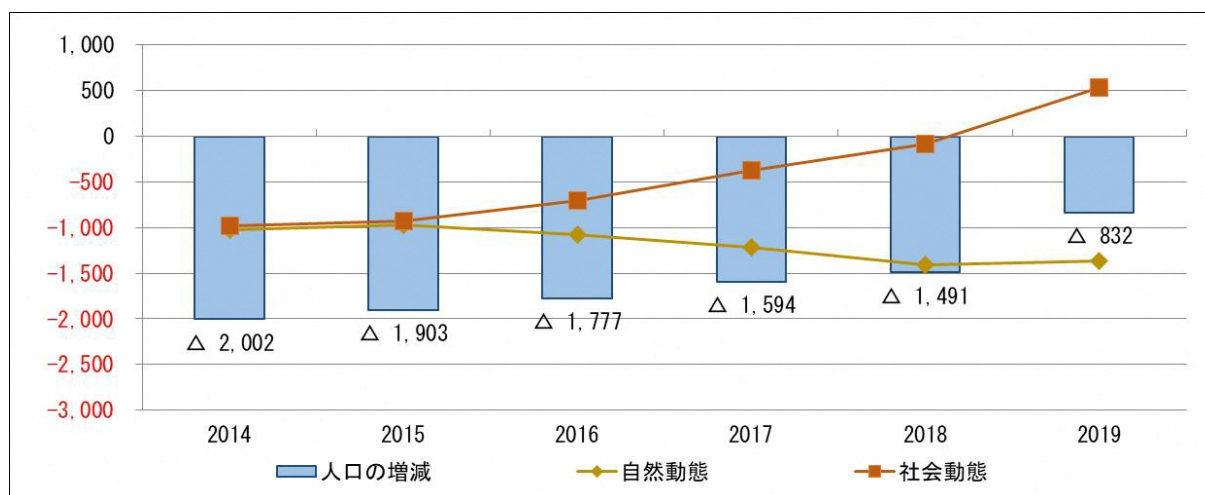
(1) 人口動態の改善

第1期総合戦略期間における人口動態ですが、自然動態については、出生数の減少に加えて高齢者の死亡数の増加により、人口の減少幅が拡大傾向にあります。一方、社会動態については2019年度（令和元年度）に転入超過となり、目標としていた社会移動均衡を達成しました。（図1）

社会動態が転入超過を達成した要因としては、外国人の転入超過が継続するとともに、若者世代を対象とした移住定住促進施策や子育て支援の充実、リノベーションまちづくり等によるまちづくりの担い手育成や起業創業の支援、大型商業施設の開業などの働く場の創出等が実を結んだものと考えられます。

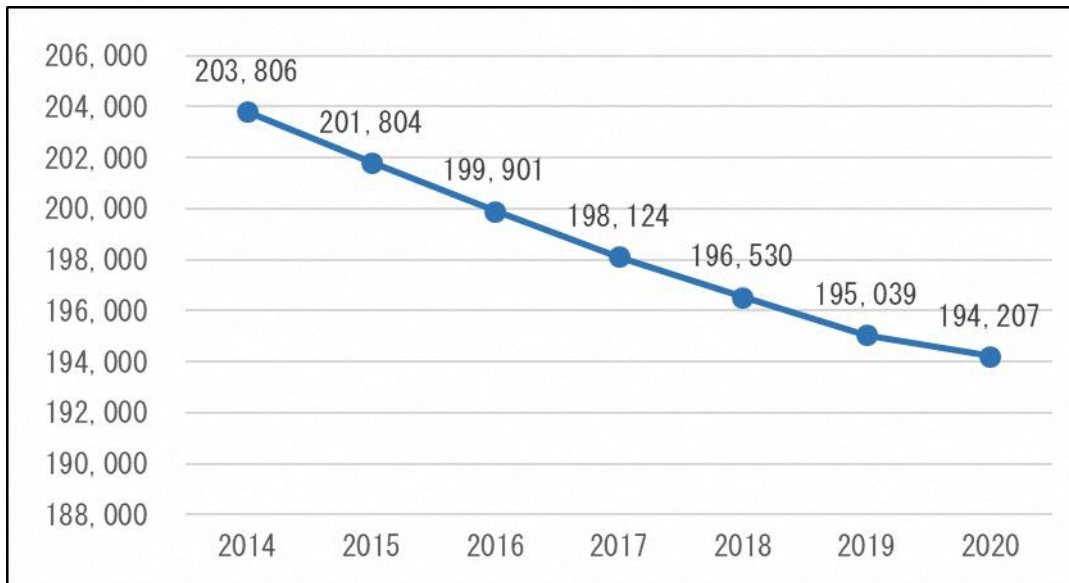
しかしながら、人口減少は続いている（図2）ことから、婚姻数や出生数、子育て世帯数の増加に向けた支援の拡充や、多文化共生の推進、若い世代にとって魅力のある雇用の場の創出など、若者世代を意識したまちづくりや都市的魅力的向上が求められています。

図1 自然動態・社会動態の動向



(資料：「住民基本台帳」)

図2 総人口の推移



(資料：「住民基本台帳」各年4月1日現在)

(2) 基本目標ごとの取組について

基本目標ごとの取組における評価と課題は次のとおりとなっています。

① 沼津における安定した雇用を創出する

第一次産業については、物産の消費や販売促進に取り組んできましたが、農産物の価格の低迷や水揚げ金額の減少などにより依然として厳しい状況にあります。担い手の確保・育成、生産の効率化による経営体制の強化や、地場産品の6次産業化、特産品のブランド化など、販売力の強化に向けた取組等が求められます。

また、リノベーションの取組や沼津しごと応援サイトの運用等により市内における雇用の創出に一定の成果が見られましたが、市内全体における事業所数や従業者数については減少傾向にあります。このため、都市基盤整備を踏まえた企業立地の促進や、中小企業の経営基盤の強化、女性や高齢者等の労働参画の推進などが求められます。

② 沼津への新しいひとの流れをつくる

公共空間を活用したまちなかでのにぎわい創出や、海や深海魚等の地域資源を活用した観光振興により、観光交流客数の増加が見られるとともに、移住定住促進施策の実施による移住者数の増加が見られました。

引き続き、本市の特色を活かしつつ、時代の流れも意識しながら、多様なライフスタイルを楽しめるまちなか居住や、自然あふれる地域への居住の促進、新たなツーリズムや観光メニューの提供による交流人口の拡大に取り組むとともに、新たな人の流れとして、多様な形で本市と関わる関係人口の創出に向けた取組の推進などが求められます。

③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

子ども医療費の無償化や妊産婦の支援、言語教育や小中一貫教育の推進等により、子育て世代の満足度の高まりや若者世代の社会移動数の改善が見られましたが、出生数や子育て世帯数は依然として減少傾向にあります。

結婚や出産の希望をかなえるための支援や、待機児童の解消を始めとする仕事と子育ての両立支援などに、より一層力を入れて取り組むとともに、ICT等の技術革新や社会のグローバル化なども意識した本市ならではの教育内容の充実等により、若い世代が本市において子育てしたいと思える環境づくりを力強く推進していく必要があります。

④時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

沼津市地震・津波対策アクションプランに基づく避難施設等の整備や自主防災組織における対応強化を図るとともに、コミュニティの活動支援や防犯灯の整備支援など、地域における安全・安心、快適な生活の確保に向けた取組を推進してきました。

引き続き、激甚化する自然災害や新たな感染症等への対策の強化を図るとともに、少子高齢化の進展を見据えたコミュニティ活動の担い手や高齢者の移動手段の確保、空き家対策、消費生活面での被害防止などの取組の推進が求められます。

4 第2期総合戦略の基本的視点

第1期総合戦略の取組により転入超過を達成するなど、個々の取組において一定の成果が見られたものの、未だ人口減少は進んでいます。

今後も人口減少が続けば、地域やまち全体の衰退が懸念されることから、市民の生活環境や地域経済を維持し、将来にわたりまちの活力を保つためには、可能な限り今後の人口減少を抑えることが必要となっています。

第2期総合戦略においては、第1期の考え方を継承しつつ、第5次沼津市総合計画やコロナ禍の状況、「持続可能な開発目標（SDGs）」などの新たな社会潮流等も意識し、以下の基本的視点を持って施策を推進していきます。

（参考：持続可能な開発目標（SDGs）とは）

持続可能な開発目標（SDGs）とは2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、地方自治体においても理念に沿った取組の推進が求められています。

（1）誰もが活躍できる環境をつくり、若年層や子育て世代の人口増加を促進する

- 本市への人口流入を拡大するため、雇用の場の確保や起業等のチャレンジを支援するとともに、自然に恵まれ、都会的で暮らしやすいまちの魅力を市内外へ発信し、若年層や子育て世代の人口増加を促進します。
- 働き方改革や柔軟な働き方の導入を推進するとともに、女性や高齢者、外国人などの多様な人材の活躍を推進します。

（2）交通利便性と地域資源を活かし、交流人口や関係人口、移住者の拡大を図る

- 東京圏との近接性や交通利便性、豊かな自然環境をはじめ、歴史・文化遺産などの地域資源や、スポーツ、コンテンツ等を活用した交流人口の拡大を図ります。
- 地域に継続的に多様な形で関わり、地域の担い手を補完する関係人口の創出・拡大に努めるとともに、新たな働き方に伴う自分らしい生活を楽しめる“ぬまづ暮らし”の実現に向けた移住支援の拡充を図ります。

(3) 若い世代が喜びを感じる暮らしを実現し、新たな時代に向けた教育を推進する

- 人口減少を克服するために、若い世代の結婚、妊娠、出産の希望をかなえ、安心して子育てができ、本市で暮らすことに喜びを感じられるような社会経済環境を整備します。
- 若い世代のまちづくりへの参画を促進するとともに、教育における地域との関わりの推進や Society5.0 時代を担う人材の育成など、沼津らしい教育を展開します。

(4) 課題解決に新しい時代の流れも活用しながら、魅力的な地域をつくる

- 地震津波対策や感染症対策など地域が直面する課題を解決し、地域の中において安全・安心で心豊かな生活が将来にわたって確保されるように努めます。
- 持続可能な開発目標（SDGs）の理念を踏まえて地域課題の解決に総合的に取り組み、持続可能なまちづくりを推進するとともに、Society5.0の実現に向けて様々な分野におけるデジタル技術の導入を産学官連携のもと推進し、都市の魅力と生活利便性の向上を図ります。

5 推進体制と PDCA の確立

まち・ひと・しごと創生の推進にあたっては、市長を本部長とする「沼津市地方創生推進本部」が人口ビジョン・総合戦略の策定や企画立案、政策の進捗管理等を行います。

また、学識経験者や民間団体、市民等で構成する外部組織「沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会」において、総合戦略の政策目標や重要業績評価指標（KPI）に基づく効果検証、それに基づく改善に関し意見聴取を行いながら、PDCA サイクルを確立します。

Ⅱ 基本目標

第2期総合戦略においては、第1期総合戦略における課題や第2期総合戦略における基本的視点を踏まえながら、人口ビジョンで定めた将来のまちの姿である「都市的魅力と自分らしい生活を楽しめる“ぬまづ暮らし”の実現」に向けて、以下の「4つの基本目標」を設定し、施策を推進していきます。

1 力強い産業を育て魅力ある雇用を創出する

《数値目標》

- 事業所数 10,178 事業所(平成28年実績) ⇒ **10,000 事業所(令和7年)**
- 従業者数 101,160 人(平成28年実績) ⇒ **11 万人(令和7年)**

人口減少の抑制と東京圏への人口流出を是正するためには、「しごと」と「ひと」の好循環を確立する必要があり、まずは、本市に「しごと」をつくることが重要です。

市民アンケート調査における「総合戦略の重要度」では、「地域産業を担う人材の確保・育成（若年者の就労支援や農業等の担い手育成など）」が第2位という調査結果となっています。

厳しい状況にある第一次産業の活性化に向けて、地産地消の推進を図るとともに、新たな特産品の開発やブランド化などに地域の総合力で取り組みます。

また、個店の魅力発信の強化やリノベーションの取組のエリア展開により、まちの魅力や集客力の向上を図ります。

さらに、企業誘致・定着の促進や、スマート農業の推進、起業創業の支援などにより、新たな産業や雇用を創出するとともに、若年者の地元企業への就労支援や誰もが働きやすい環境づくりに取り組み、地域産業を担う人材の確保を図ります。

2 沼津への新しいひとの流れをつくる

《数値目標》

- 転入超過数 535 人(日本人、外国人含む。令和元年度実績) ⇒ **転入超過維持(令和7年度)**
- 観光交流客数 436 万3千人(令和元年度実績) ⇒ **600 万人(令和7年度)**

本市は、交通の要衝として商業や業務などの機能が集積し、人・物・情報の往来拠点として生み出される多くの交流が、これまでの本市の発展を支えてきました。

都市機能が集積する中心市街地では、ヒト中心の魅力あるまちを実現するため、沼津駅周辺総合整備事業や総合体育館整備等の基盤整備により都市的魅力の向上を図りつつ、まちなかのにぎわいを創出し、生活利便性の高いまちなかへの居住を促進します。

また、スポーツツーリズムの推進や歴史・文化資源の保存・活用など、ぬまづの宝である地域資源を最大限活かした取組を推進するとともに、ワーケーションなど新たな観光スタイルに合わせた取組、アフターコロナを見据えた外国人観光客への受入環境の整備などを進め、交流人口の拡大を図ります。

さらに、市民一人ひとりが、沼津に誇りを抱き、市民自らが発信するインナープロモーション

の促進を図るとともに、沼津のファンを増やす関係人口の創出・拡大に取り組み、地域の活性化や将来的な移住・定住につなげていきます。

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

《数値目標》

■出生数 1,082人(日本人、外国人含む。令和元年度実績) ⇒ 1,200人(令和7年度)

■子育て世帯数 16,423世帯(令和2年4月1日) ⇒ 18,000世帯(令和8年4月1日)

厚生労働省の平成25年～29年人口動態保健所・市町村別統計によると、本市の合計特殊出生率は1.41で、全国の1.43、県の1.54を下回り、国が公表した「希望出生率」(結婚や出産に関する国民の希望が実現した場合の出生率)1.80や、人口を長期的に一定に保てる水準とされる2.07に対しては大きく下回っています。

若い世代が安心して子どもを産み育てることができるよう、経済的な負担を軽減する施策の拡充や、出会い・結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の更なる充実を図るとともに、特色ある沼津らしい教育に地域総がかりで取り組み、若い世代が希望する子育て環境づくりを進めます。

また、女性活躍の推進や柔軟な働き方の普及など、家族や地域、企業と連携した仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の確保に努めるとともに、スポーツなどを通じた健康づくり活動を促進し、誰もが心身ともに元気で健康に生活できる社会の実現を図ります。

4 新しい時代に合った、安全・安心で誰もが暮らしやすい地域をつくる

《数値目標》

■沼津に愛着を感じ、住みたい、住み続けたいと思う市民の割合

79.1%(令和元年度実績) ⇒ 85%(令和7年度)

「しごと」と「ひと」の好循環は、それを支える「まち」の活性化によって、より強固に支えられます。「まち」を形成する「地域」の活性化のためには、安全・安心で快適な生活環境の整備が必要です。

市民アンケート調査における「総合戦略の重要度」では、「災害に強い安全・安心な生活環境づくり」が第1位という調査結果となっています。

地震・津波対策や、気候変動の影響を踏まえた常襲浸水地域の浸水被害対策、観光拠点における来訪者の安全確保など、激甚化する自然災害への対策を総合的に推進します。

加えて、大規模災害発生時には、地域住民による防災活動が重要となることから、自主防災組織の充実・強化や地域別の災害避難行動計画の策定などに取り組みます。

また、公共交通ネットワークの形成など、生活利便性の向上を図るとともに、地域住民の自主的な活動の支援、高齢者の生きがいつくり、多文化共生の推進に取り組み、市民がいつまでも安心して、それぞれの地域で共に支え合い、快適に暮らせるまちづくりを進めます。

さらに、市民や事業者とSDGsの理念を共有して地域課題の解決に取り組むとともに、ICT等の最先端技術の導入を産学官連携のもと推進し、都市の魅力の向上を図ります。

Ⅲ 施策の方向と具体的な取組

4つの基本目標を達成するため、5か年で取り組む各基本目標の「施策の方向と具体的な取組」を明らかにします。

■ 基本目標と施策の方向

基本目標	施策の方向
1 力強い産業を育て魅力ある雇用を創出する	1-1 地場産品の競争力強化と地域経済の活性化 1-2 新たな仕事づくりと雇用の創出 1-3 地域産業を担う人材の確保・育成 1-4 立地環境を活かした企業誘致
2 沼津への新しいひとの流れをつくる	2-1 まちなか居住の推進と都市的魅力の向上 2-2 “ぬまづ暮らし”の発信による住み替えの促進、関係人口の創出・拡大 2-3 観光資源を最大限活用した交流人口の拡大 2-4 外国人の誘客とおもてなしの充実
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	3-1 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現 3-2 若い世代の経済的安定 3-3 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 3-4 子ども・子育て支援の充実 3-5 沼津らしい子ども教育の更なる推進
4 新しい時代に合った、安全・安心で誰もが暮らしやすい地域をつくる	4-1 災害に強い安全・安心な生活環境づくり 4-2 便利で快適な居住環境の整備 4-3 共に支え合う地域コミュニティの充実 4-4 新しい時代の流れを活用する

1 力強い産業を育て魅力ある雇用を創出する

1-1 地場産品の競争力強化と地域経済の活性化



(1) 施策の方向

地場産品に係る経営環境は、従事者の高齢化や後継者不足、販売価格の低迷などにより、厳しい状況にあるため、異業種間で連携した特産品の開発やブランド化の推進、地産地消の推進等を通じて、地場産品の振興に努め、競争力強化と地域経済の活性化を図ります。

数値目標	基準値 (R2)	KPI (重要業績評価指標 R7)
販路開拓等に取り組んだ商品の売上高対前年度比率	未実施	対前年度比 120%

(2) 具体的な取組

1-1-① 産業間連携による地域資源の活用（物産振興の推進）		産業戦略推進室、商工振興課、農林農地課、水産海浜課
本市の地域資源である農水産物の活用を図るため、生産者や関係機関、地域商社等の連携体制を構築し、ブランド化から新たな販路開拓までの支援を行うことで、生産者の所得向上、地域産業の更なる活性化を図ります。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 本市農水産物による「食」を通じた魅力を市内外に発信 ● ブランド化、販路拡大に向けた生産者の取組への支援 ● 新たな販路拡大に係る手法の検討と事業化 ● 民間主導による地域商社の立ち上げ支援・関係機関等との連携構築 		
数値目標	基準値 (R2)	KPI (重要業績評価指標 R7)
販路開拓等に取り組んだ商品の売上高対前年度比率	未実施	対前年度比 120%

1-1-② 地産地消の総合的な推進		農林農地課
安全・安心な食生活の実現のため、地域で生産された農畜産物を地域で消費する「地産地消」を推進し、その定着化を図ります。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 食育 DAY キャンプ in ぬまづ・食育体験ツアーの開催 ● 沼津農林まつりの開催 ● 沼津 Local Food Meeting の開催 ● 学校給食への地場農産物の提供拡大 ● 産直市を活用した地場農産物の消費拡大 ● 高校生地産地消メニューコンテストの開催 ● 沼津港マルシェの開催 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
学校給食へ地場農産物を提供する農家数	138 戸	152 戸

1-1-③ 沼津の農産物振興		農林農地課
本市の基幹作物である「茶」、「みかん」、「米」の消費拡大、品質向上、販路拡大に関する施策を支援し、農産物の振興を図ります。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 沼津茶の消費拡大推進 ● 茶の魅力の再発見 ● 茶の伝統文化の推進 ● みかんの品種転換促進 ● ブランド米「するがの極」推進 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
茶生産量	788t	900t

1-1-④ 水産業振興の推進		水産海浜課
魚食の普及や地産地消、流通の促進や販路拡大に向けた取組を推進し、地域経済を支え、本市を代表する地場産業である水産業の振興を図ります。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 市内漁業者を対象とした出漁・流通促進等の支援 ● 魚食普及の促進 ● 販路拡大・ブランド化の推進 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
4 漁協と沼津魚市場(株)の水揚(取扱)量	91,582t	94,000t

1-2 新たな仕事づくりと雇用の創出



(1) 施策の方向

遊休不動産や公共空間を公民連携の手法により活用してイノベーティブな起業を生み出し、まちなかの居住を支えるサービス業等の新たな担い手を育成するとともに、起業創業支援や魅力ある商店街の創出に向けたリブランディングを推進し、新たな仕事づくりと雇用の創出を図ります。

数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
新規に創出した従業者数	101 人	160 人

(2) 具体的な取組

1-2-① 公民連携リノベーションまちづくりの推進		まちづくり政策課
<p>経済活動の停滞などにより増加している遊休不動産の活用を通じ、まちに新たな人材やコンテンツを呼び込み、これを連鎖させていくことで、エリア価値の向上を図ります。また、市所有の遊休公共施設についても、民間事業者のアイデアやノウハウを活かした公民連携の取組を推進し、有効活用と収益性向上を図ります。</p>		
<p>取組内容</p> <p>【民間施設編リノベーションまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 民間事業者による個別案件の実事業化、自走化の支援 ● 重点エリアのエリアリノベーションへの深化 ● 「職住遊近接」のまちなかライフスタイルの促進 ● まちづくりに積極的な公と民のプレーヤー同士のネットワーク化 <p>【公共施設編リノベーションまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設マネジメント計画との連携のもと、公民連携を導入するスキームの確立 ● 施設所管課とともに民間活用の導入を支援 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
事業を通じて増加した従業者数	57 人	90 人

1-2-② 起業創業支援		商工振興課
<p>起業家やベンチャー企業の事業化促進、支援機関等との連携や、知的財産活用などを通じた、地域の産業育成と人材育成により経済活性化を図ります。また、女性や社会的起業家等ターゲット別の起業支援策や新規開業者の事業継続支援策について検討・実施します。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 起業に関するコーディネーターの設置・育成 ● 起業創業支援機関（中小企業支援センター等）によるきめ細かな支援 ● 創業後、専門家の経営診断等による経営改善の実施 ● 創業者の育成（セミナー等の開催） ● 民間のコワーキングスペースを活用した創業機運醸成 ● ICT等の先端技術導入の支援など、新たな産業の創出 		
数値目標	基準値（R1）	KPI（重要業績評価指標 R7）
ぬまづビジネスサポート連絡会の支援により新規に創業した事業者数	44 件	70 件

1-2-③ まちなか商業リブランディングの推進		商工振興課
<p>個店のリブランディング推進により、まちの魅力向上と商業の振興を図るとともに、まちづくりに取り組む諸団体との協働や、中央公園、沼津港、狩野川、香貫山などの観光スポットや自然資産の活用により、交流人口の拡大と中心市街地のにぎわい創出を図ります。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● まちなかの個店及びエリアの魅力向上 ● 狩野川周辺のにぎわいづくり及びまちなか回遊性向上に係る取組の推進 ● イベントの開催や魅力ある買い物環境の整備などに取り組む民間団体等との協働及び活動支援 ● 若手事業者等、今後のまちづくりを担う人材の発掘 		
数値目標	基準値（R2）	KPI（重要業績評価指標 R7）
中心市街地歩行者数	45,250 人	80,000 人

1-3 地域産業を担う人材の確保・育成



(1) 施策の方向

市内企業の安定した雇用の確保を図るため、市内企業の魅力発信やマッチングを強化し、若年者の就労を支援するとともに、柔軟な働き方を推進し、女性や高齢者、外国人など多様な人材の労働参画を促進します。また、農業振興や経営の安定化に向けて、基盤整備を進めるとともに、後継者の確保と新たな担い手の育成・支援に努めます。

数値目標	基準値 (H28)	KPI (重要業績評価指標 R7)
従業者数	101,160 人	110,000 人

(2) 具体的な取組

1-3-① 沼津しごとの応援		商工振興課
市内の企業の魅力を発信し、若年者の就労支援や学生の地元企業への就職誘導に努め、人材を求めている企業の安定した雇用の確保を図り、力強い産業を牽引するまちづくりを進めます。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 市内企業に特化した就職支援サイト「ぬま job」の運営 ● 合同就職面接会の開催 ● キャリアデザイン相談センターによる伴走型就職支援 ● 企業の魅力を高める働き方改革セミナーの開催 ● 女性向けのワーク・ライフ・バランスセミナーの開催 ● 奨学金返還支援制度の実施による UIJ ターン就職の推進 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
本事業により市内企業に就職した数	12 人	延べ 100 人

1-3-② 農業改革の推進		農林農地課
<p>意欲ある担い手農家を育成するとともに、スマート農業の推進により、農作業の省力化、効率化を図り、高齢化対策や農産物の高品質生産を目指します。また、農業関連企業や AOI 機構との連携により、荒廃農地の解消及び発生予防を促進し、地域農業の振興と改革を推進します。</p>		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 次世代の担い手となるべき中心的経営感覚を有する意欲的な農業者等の支援・育成 ● 民間企業経営体の誘致に向けた取組 ● 農業団地の民間による整備の促進 ● 荒廃農地再生・集積促進 ● AOI 連携事業（AOI 機構実証フィールドでの成果検証） ● スマート農業の推進（ICT 機器導入、ドローンによる農薬散布等） 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
農地集積の面積	45.2ha※単年度ベース	150ha※累計

1-3-③ 男女共同参画の推進		地域自治課
<p>地域・事業所・教育及び家庭などのあらゆる分野において男女共同参画の機運醸成や女性活躍の推進を図るとともに、全ての人が対等な関係で協力し合い、共に責任を担って心豊かに暮らしていくことのできる「男女共同参画社会」の実現を目指します。</p>		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 沼津市男女共同参画基本計画に基づく施策の推進 ● 男女共同参画推進委員会の開催 ● 「男女共同参画推進事業所」の登録促進 ● 児童・生徒に対する「職業講話」、各地区における「地域づくり講座」、性別、年代、職域等の属性に配慮した「企画・セミナー」の実施 		
数値目標	基準値 (R2)	KPI (重要業績評価指標 R7)
男女共同参画推進事業所認定数	91 事業所	115 事業所
市審議会等への女性登用率	女性登用率 29.2% (R1)	女性登用率 35%

1-3-④ 人材の育成（起業創業支援）【再掲】		商工振興課
<p>起業家やベンチャー企業の事業化促進、支援機関等との連携や、知的財産活用などを通じた、地域の産業育成と人材育成により経済活性化を図ります。また、女性や社会的起業家等ターゲット別の起業支援策や新規開業者の事業継続支援策について検討・実施します。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 起業に関するコーディネーターの設置・育成 ● 起業創業支援機関（中小企業支援センター等）によるきめ細かな支援 ● 創業後、専門家の経営診断等による経営改善の実施 ● 創業者の育成（セミナー等の開催） ● 民間のコワーキングスペースを活用した創業機運醸成 ● ICT等の先端技術導入の支援など、新たな産業の創出 		
数値目標	基準値（R1）	KPI（重要業績評価指標 R7）
ぬまづビジネスサポート連絡会の支援により新規に創業した事業者数	44 件	70 件

1-4 立地環境を活かした企業誘致



(1) 施策の方向

東名・新東名のスマートインターチェンジの開設など、交通基盤の整備が進んだことにより、首都圏との交通利便性を活かした効果的な土地利用を図るとともに、企業の誘致・定着を促進するための支援策の拡充や中小企業の経営基盤の強化などに積極的に取り組みます。

数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
年間企業立地件数 (補助制度活用による)	2 件	延べ 50 件

(2) 具体的な取組

1-4-① 企業立地の促進		商工振興課
企業立地を促進するための補助制度や企業立地の受け皿となる工業用地の開発可能性を検討し、企業の立地促進とともに、工業振興や雇用創出を図ります。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 企業誘致活動の推進 ● 工場等の立地や医療関連分野への設備投資等への支援制度の運用を通じ、企業立地を促進 ● 工業用地開発可能性の検討 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
年間企業立地件数 (補助制度活用による)	2 件	延べ 50 件

1-4-② 農業団地事業構想 (農業改革の推進) 【再掲】		農林農地課
意欲ある担い手農家を育成するとともに、スマート農業の推進により、農作業の省力化、効率化を図り、高齢化対策や農産物の高品質生産を目指します。また、農業関連企業や A0I 機構との連携により、荒廃農地の解消及び発生予防を促進し、地域農業の振興と改革を推進します。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 次世代の担い手となるべき中心的経営感覚を有する意欲的な農業者等の支援・育成 ● 民間企業経営体の誘致に向けた取組 ● 農業団地の民間による整備の促進 ● 荒廃農地再生・集積促進 ● A0I 連携事業 (A0I 機構実証フィールドでの成果検証) ● スマート農業の推進 (ICT 機器導入、ドローンによる農薬散布等) 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
農地集積の面積	45.2ha※単年度ベース	150ha※累計

2 沼津への新しいひとの流れをつくる

2-1 まちなか居住の推進と都市的魅力的向上



(1) 施策の方向

本市の中心市街地は、かつてに比べ県東部における経済的・都市的活動の拠点性が相対的に低下してきています。これまで蓄積した様々な都市機能の集積を活かし、都市的魅力的向上を図る生活基盤整備とともに、利便性の高い快適な居住環境を提供し、多様化するライフスタイルの一つであるまちなか居住を推進します。

数値目標	基準値 (R2)	KPI (重要業績評価指標 R7)
中心市街地歩行者数	45,250 人	80,000 人

(2) 具体的な取組

2-1-① 沼津駅周辺総合整備		推進課、整備課、 沼津駅周辺区画整理事務所
沼津駅周辺の鉄道高架化により南北交通の円滑化と南北市街地の一体化を図り、都市基盤の強化と中心市街地の活性化を進め、静岡県東部地域を牽引し、魅力あるにぎわいのまちを創出します。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道高架事業 (鉄道高架区間 L=5.3km、車両基地・貨物駅移転) ● 移転先周辺整備事業 (片浜西沢田線 L=0.9km、周辺道路整備 L=5.8km、緑地調整池整備) ● 沼津駅周辺土地区画整理事業 (沼津駅南・東部拠点第二地区) (施行面積 33.7ha、建物移転戸数 235 戸) 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R8)
片浜西沢田線の整備	0km	0.9km
移転先周辺の基盤整備	0ha	3.5ha

2-1-② 総合体育館等の整備		総合体育館整備室
<p>都市機能を集約し、狩野川や香貫山などの地域資源との連携が図られた「健康・文化・交流ゾーン」を形成することで、居心地よく質の高い都市空間づくりを進め、ヒト中心で都市の魅力にあふれるまちの実現を目指します。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 香貫駐車場、総合体育館及び広場等外構の設計、建設、維持管理、運営をPFI（BT0）方式により実施 		
数値目標	基準値（R1）	KPI（重要業績評価指標 R7）
総合体育館の年間利用者数	241,398人	400,000人（R5年度以降）

2-1-③ 市街地再開発等の推進		市街地整備課、 まちづくり政策課
<p>町方町・通横町地区を始めとする中心市街地において、都心居住の先導的な街並みを形成し、居住人口の増加を図るとともに、ヒト中心の回遊性の高いまちづくりに向けて、民間が実施する様々な事業手法に対する指導・助言及び支援を行います。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 都市再開発法やその他制度に基づく市街地の民間開発に対する支援・指導 		
数値目標	基準値（R2）	KPI（重要業績評価指標 R7）
中心市街地における居住人口の拡大（大手町2～5丁目、上土町、通横町、町方町）	1,600人	2,020人

2-1-④ 中心市街地まちづくり戦略		まちづくり政策課
<p>沼津駅周辺の市街地をヒト中心の魅力ある場所へと再生し、多くの市民や来街者が集い、交流し、住まい、回遊する都市の顔として再構築を図ります。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ヒト中心の公共空間創出に向けた空間・交通再編の検討 ● 市街地環境の向上に向けたまちなみ景観形成や低未利用地の利活用等の検討 ● 市民等のまちづくりに対する意識の高揚を図るための取組の実施 		
数値目標	基準値（R2）	KPI（重要業績評価指標 R7）
中心市街地歩行者数	45,250人	80,000人

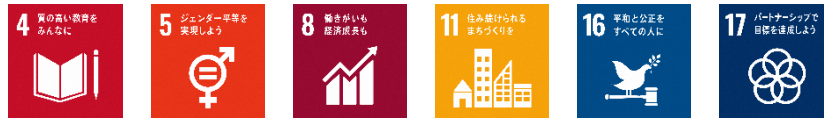
2-1-⑤ 公共交通ネットワークの形成		まちづくり政策課
<p>市民や交通事業者など多様な関係者と連携し公共交通の利便性を高め、誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの形成や利用環境の整備を図り、本市が目指す持続可能な都市構造「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを推進します。</p>		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域公共交通計画の推進（利便性向上及び利用促進に係る各種施策の展開） ● 沼津市地域公共交通協議会、部会の運営 ● 自主運行バスの運行 ● ミューバス（片浜駅・原駅循環）の運行補助 		
数値目標	基準値（H30）	KPI（重要業績評価指標 R7）
公共交通利用者数	45,837 人	45,900 人

2-1-⑥ 公民連携リノベーションまちづくりの推進【再掲】		まちづくり政策課
<p>経済活動の停滞などにより増加している遊休不動産の活用を通じ、まちに新たな人材やコンテンツを呼び込み、これを連鎖させていくことで、エリア価値の向上を図ります。また、市所有の遊休公共施設についても、民間事業者のアイデアやノウハウを活かした公民連携の取組を推進し、有効活用と収益性向上を図ります。</p>		
取組内容		
<p>【民間施設編リノベーションまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 民間事業者による個別案件の実事業化、自走化の支援 ● 重点エリアのエリアリノベーションへの深化 ● 「職住遊近接」のまちなかライフスタイルの促進 ● まちづくりに積極的な公と民のプレーヤー同士のネットワーク化 <p>【公共施設編リノベーションまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設マネジメント計画との連携のもと、公民連携を導入するスキームの確立 ● 施設所管課とともに民間活用の導入を支援 		
数値目標	基準値（R1）	KPI（重要業績評価指標 R7）
事業を通じて増加した従業者数	57 人	90 人

2-1-⑦ まちなか商業リブランディングの推進【再掲】		商工振興課
<p>個店のリブランディング推進により、まちの魅力向上と商業の振興を図るとともに、まちづくりに取り組む諸団体との協働や、中央公園、沼津港、狩野川、香貫山などの観光スポットや自然資産の活用により、交流人口の拡大と中心市街地のにぎわい創出を図ります。</p>		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● まちなかの個店及びエリアの魅力向上 ● 狩野川周辺のにぎわいづくり及びまちなか回遊性向上に係る取組の推進 ● イベントの開催や魅力ある買い物環境の整備などに取り組む民間団体等との協働及び活動支援 ● 若手商業者等、今後のまちづくりを担う人材の発掘 		
数値目標	基準値 (R2)	KPI (重要業績評価指標 R7)
中心市街地歩行者数	45,250 人	80,000 人

2-1-⑧ 文化財の保存活用		文化振興課
<p>市内にある文化財を、西部、中央、北部、南部の4つのエリアに分け、それぞれの拠点となる本市固有の貴重な財産である文化財を中心に、地域資源として保存活用を図ります。</p>		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 文化財保存活用地域計画の策定 ● 講演会や体験学習等文化財活用事業の開催 ● SNS等を活用した情報発信（説明動画 QR 配信） ● 公開活用事業 ● 施設管理・修繕 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
利用者数	18,000 人	32,000 人

2-2 “ぬまづ暮らし”の発信による住み替えの促進、関係人口の創出・拡大



(1) 施策の方向

本市は温暖な気候と恵まれた自然環境、首都圏との近接性を活かし、都会的な暮らしだけでなく、自然を満喫した暮らしも送ることができ、多様なライフスタイルに対応した生活環境が整っています。市民が個性的で自分らしい生活を実現できる“ぬまづ暮らし”の魅力の周知・浸透を図り、移住・定住を促進するとともに、関係人口の創出・拡大を図ります。

数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
社会移動数	535 人	転入超過維持

(2) 具体的な取組

2-2-① ぬまづ暮らしへの住み替えの促進		政策企画課
首都圏等の移住希望者に対して、ぬまづ暮らしの魅力発信や移住・定住の支援などを行うことで、移住・定住の促進を図り、本市の人口減少の抑制につなげます。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 本市への移住相談受付（電話、来庁、オンライン） ● 県による首都圏やオンラインでの移住相談会への出展 ● 関係人口創出を見据えた市単独相談会等の開催 ● 官民連携による移住者の受入体制・情報発信の充実、新たな移住推進施策の検討・実施 ● 移住就業支援金等による移住者支援 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
事業を通じた移住者数	18 人	延べ 125 人

2-2-② 沼津の魅力発信の推進		広報課
<p>市民に向けては、インナープロモーションの強化によるシビックプライドの醸成、市外に向けては様々な情報の発信による本市の認知度を高めるため、「ぬまづの宝 100 選」の市民認知度を高めるとともに、「フォト&ムービーライブラリー」の閲覧数向上に努め、市内外へのシティプロモーションを推進します。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● インナープロモーションの施策の中心に「ぬまづの宝 100 選」を据えた、市制施行 100 周年に合わせた改選及びそのプロセス自体の企画化 ● 「フォト&ムービーライブラリー」の充実に向けた、空撮や過去の写真等の市保有写真の掲載及び市民参画の視点からの掲載写真公募の実施 ● 職員広報研修や新たな広報ツールの開拓による市全体の広報力の強化 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
ぬまづの宝 100 選の市民認知度	53.9% (H28)	100%
市 HP「フォト&ムービーライブラリー」閲覧数	月平均 1,589 アクセス	月平均 3,000 アクセス

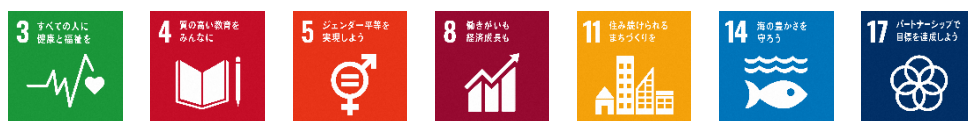
2-2-③ 観光プロモーション		観光戦略課
<p>本市が有する魅力の磨き上げを行うとともに、その魅力を様々な媒体を活用して発信することにより、交流人口の拡大を図ります。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 観光ポータルサイトを活用した旅行者全般を対象にした観光情報の提供 ● 東京デスクを活用した首都圏メディアや旅行事業者を対象にした観光情報の提供及び発信 ● エージェントセールスサイトを活用した旅行事業者等による宿泊を伴うツアー造成の支援 ● ロケーションライブラリーを活用したロケ等の誘致及び支援 ● ワークーションなど、新たな観光スタイルの推進 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
観光交流客数	436 万 3 千人	600 万人

2-2-④ ふるさと納税の推進		観光戦略課、政策企画課
<p>ふるさと納税制度を活用し、寄附金の使い道のPRや返礼品の進呈を通じて沼津の魅力を発信することで、定住人口や交流人口の増加と財源の確保を図ります。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 寄附の受付 ● ワンストップ特例申請受付 ● 返礼品の進呈 ● 寄附金の使い道などのPR ● 企業版ふるさと納税の推進 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
ふるさと応援基金寄附金寄附件数	15,963 件	35,000 件

2-2-⑤ 中央公園等リノベーション		緑地公園課 まちづくり政策課
<p>民間事業者等との連携による公園を活かしたにぎわい創出や有事の際の利活用も含め、安全・安心のもと使用できる公園整備を進めるとともに、緑を活かした潤いと安らぎを感じる美しいまちづくりを推進します。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公園に必要な機能の調査、新たな機能導入に係る手法検討、機能導入に係る民間事業者等との調整、検討結果に基づく公園再整備 ● パークマネジメント協定等による公園の利活用 ● まちなか緑地の新たな維持管理に係る調査、市民等との協議 ● 市民等と連携したまちなか緑地の新たな維持管理 ● 事業成果における公園や緑地のPR 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
民間事業者等との連携による公園整備	0 か所	計 2 か所

2-2-⑥ 空き家対策の推進		まちづくり指導課
<p>増加傾向にある空き家の適正管理や有効活用により、既存ストックの活用を図るほか、管理不全な空き家の除却を促進し、市内の居住環境向上と都市的魅力にあふれるまちづくりを進めます。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 空き家の発生抑制に向けたワンストップ相談会の開催、出前講座への出席、パンフレット作成・配布 ● 空き家の適正管理・有効活用に向けたデータベースの整備、空き家バンクの運営、空き家活用定住支援補助金交付制度の運用、空き家等のリノベーション ● 特定空き家に対する指導、不良住宅の解体費助成、財産管理人制度の活用 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
管理不全な空き家の削減数	延べ 168 件	延べ 320 件

2-3 観光資源を最大限活用した交流人口の拡大



(1) 施策の方向

本市を含む県東部地域は、世界に誇れる美しい自然環境をはじめ、多くの歴史・文化遺産や特産品にも恵まれ、人々を引き入れる潜在力と可能性を秘めています。沼津港をはじめとする海を活かしたイベント等によるにぎわいの創出を図るとともに、スポーツ、歴史・文化、産業などを活用したツーリズムの推進や、MICE 誘致など、広域での観光振興を推進します。

数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
観光交流客数	436 万 3 千人	600 万人

(2) 具体的な取組

2-3-① 観光プロモーション【再掲】		観光戦略課
本市が有する魅力の磨き上げを行うとともに、その魅力を様々な媒体を活用して発信することにより、交流人口の拡大を図ります。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 観光ポータルサイトを活用した旅行者全般を対象にした観光情報の提供 ● 東京デスクを活用した首都圏メディアや旅行事業者を対象にした観光情報の提供及び発信 ● エージェントセールスサイトを活用した旅行事業者等による宿泊を伴うツアー造成の支援 ● ロケーションライブラリーを活用したロケ等の誘致及び支援 ● ワークーションなど、新たな観光スタイルの推進 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
観光交流客数	436 万 3 千人	600 万人

2-3-② 深海魚を活用した地域産業の活性化 (水産業振興の推進)【再掲】		水産海浜課
魚食の普及や地産地消、流通の促進や販路拡大に向けた取組を推進し、地域経済を支え、本市を代表する地場産業である水産業の振興を図ります。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 市内漁業者を対象とした出漁・流通促進等の支援 ● 魚食普及の促進 ● 販路拡大・ブランド化の推進 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
4 漁協と沼津魚市場(株)の水揚 (取扱) 量	91,582t	94,000t

2-3-③ 沼津港みなとまちづくりの推進		水産海浜課
沼津港みなとまちづくり推進計画（静岡県策定）を踏まえて、沼津港の整備及びまちづくりを推進し、沼津のにぎわい拠点としての更なる発展と周辺への波及を図ります。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 沼津港みなとまちづくり推進計画（静岡県策定）の推進 ● にぎわい拠点施設の整備促進 ● エリアマネジメントの推進 ● 県による港湾整備の促進（港湾施設改良・改修） ● 沼津港エリア内における回遊促進 ● 地元ソフト事業（水産祭等催事など）の支援 ● みなとまちづくりの実現に向けた検討部会の運営・関係者との調整 		
数値目標	基準値（H30）	KPI（重要業績評価指標 R7）
来港者入込客数	166 万人	178 万人

2-3-④ イベントの展開とにぎわいの創出		観光戦略課
沼津ならではの観光として、本市最大のイベントである「沼津夏まつり」などを継続して実施していくとともに、観光振興ビジョン改定なども踏まえ、新たな地域資源等を活用したイベントを企画・実施することにより、交流人口の拡大を図ります。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな地域資源のほか、戸田地区・西部地区の資源を活用したイベントの企画・運営 ● 既存イベントの開催成果の検証、見直し ● 民間イベントの支援 ● 沼津港から市内への回遊性確保 ● 宿泊及び交通事業者との連携構築 		
数値目標	基準値（R1）	KPI（重要業績評価指標 R7）
観光交流客数	436 万 3 千人	600 万人

2-3-⑤ 広域観光・MICE の推進		観光戦略課
沼津市を中心とした静岡県東部・伊豆地域が持つ大きな強みを活かし、MICE の誘致及び開催支援を通じて、宿泊誘客による経済波及効果を促進させ、観光振興から産業振興そして地域振興へ寄与し、国内屈指の MICE 開催地を目指します。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 開催支援制度を活用したプラサ ヴェルデでの MICE 等の誘致 ● 関係団体と連携した利用者・来場者へのおもてなし手法と受入体制の整備 ● 伊豆半島ジオパーク、美しい伊豆創造センター等の広域団体及び事業への参画 		
数値目標	基準値（R1）	KPI（重要業績評価指標 R7）
管内での MICE 開催件数	26 件	43 件
管内での MICE 参加者数	12, 312 人	20, 800 人
管内での MICE 延宿泊数	7, 631 泊	8, 940 泊

2-3-⑥ 沼津御用邸記念公園の保存活用		緑地公園課
沼津御用邸記念公園が、将来においても本市の宝であり続けるよう、文化財としての適切な整備及び管理を継続するとともに、民間事業者等との連携による本公園の特性を活かした利活用を図り、交流人口の拡大につなげます。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 松林の適正管理、サインの設置 ● 建造物の耐震補強、防火等の安全対策 ● 遺構等の修復・活用、民間事業者等との連携による公園の利活用の促進 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
来園者数	127,440 人	延べ 640,000 人

2-3-⑦ 沼津サイクルツーリズムの推進		ウィズスポーツ課
東京 2020 オリンピック・パラリンピックの自転車競技開催を契機に、ますます注目を集める本市を含む県東部・伊豆エリアにおいて、サイクルツーリズムの新しい楽しみ方や魅力を発信することにより本市の交流人口の拡大を図ります。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 沼津の各エリア（マウンテンエリア・シーサイドエリア・シティエリア）それぞれの特性を活かした観光プランの立案 ● 手軽にサイクリングを楽しめる環境の構築 ● サイクルアクティビティの魅力発信の強化 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
サイクル拠点施設利用者数	2,300 人	2,800 人

2-3-⑧ フェンシングのまち沼津の推進		ウィズスポーツ課
<p>フェンシングの地方拠点都市という新たなブランド形成に向け、フェンシングの普及・啓発、シンボルフェンサーの育成、環境整備等を行うとともに、合宿・大会の誘致・開催により本市の魅力発信や観光交流客数の増加を図ります。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市や関係事業者を含む「フェンシングのまち沼津推進協議会」の運営 ● 市内小中学校でのフェンシング体験講座の開催 ● 練習会の実施及びトップ選手（Proud Numazu Fencers）の指導等の実施 ● 大規模大会や合宿の誘致 ● フェンシング場の運用及び積極的な活用 ● フェンシングの地方拠点として、競技の強化拠点化を推進 		
数値目標	基準値（R1）	KPI（重要業績評価指標 R7）
フェンシング大会及び合宿の開催に伴う観光交流客数	0 人	延べ 450 人
フェンシングのまち沼津推進協議会会員数	0 人	延べ 100 人

2-3-⑨ アスクラロ沼津のホームタウン活動の推進		ウィズスポーツ課
<p>アスクラロ沼津のホームタウンとしてクラブの活動を多方面に支援し、その成長を後押しすることで、スポーツを通じた活気のあるまちづくりを推進します。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 沼津マッチの開催など、「わがまちプロスポーツ」の応援促進 ● ホームタウン活動・社会連携活動への支援 ● Jリーグ上位ライセンス取得支援（ホームスタジアム整備検討に関する支援） ● 総合型地域スポーツクラブの育成支援 		
数値目標	基準値（R1）	KPI（重要業績評価指標 R7）
ファミリー会員登録数	2,913 人	3,400 人
ホームゲーム平均入場者数	2,470 人	3,500 人

2-4 外国人の誘客とおもてなしの充実



(1) 施策の方向

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、訪日外国人数は大幅に減少し、需要の回復には時間がかかることが見込まれますが、アフターコロナを見据えてターゲットを明確にした情報発信や、多言語周知媒体の作成、おもてなしに関わる人材の育成、サービスの充実・向上を図り、外国人来訪者をぬくもりあふれるおもてなしで迎える環境を整備します。

数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
外国人宿泊者数	30,213 人	100,000 人

(2) 具体的な取組

2-4-① インバウンドの推進		観光戦略課
外国人の嗜好やニーズを踏まえた施策を実施及び情報発信するとともに、新型コロナウイルス対策などを英語や中国語などでの確に発信することにより、アフターコロナ期のインバウンド需要を確保します。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> 外国人の嗜好に配慮した外国語版観光ポータルサイトの制作及び運営 インバウンド用観光動画の制作、多言語観光パンフレットの作成 外国人の嗜好に配慮した「コト消費」メニューの開発 市内在住外国人会議の開催（外国人の活用検討） 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
外国人宿泊者数	30,213 人	100,000 人

2-4-② 広域観光・MICE の推進【再掲】		観光戦略課
沼津市を中心とした静岡県東部・伊豆地域が持つ大きな強みを活かし、MICE の誘致及び開催支援を通じて、宿泊誘客による経済波及効果を促進させ、観光振興から産業振興そして地域振興へ寄与し、国内屈指の MICE 開催地を目指します。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> 開催支援制度を活用したプラサ ヴェルデでの MICE 等の誘致 関係団体と連携した利用者・来場者へのおもてなし手法と受入体制の整備 伊豆半島ジオパーク、美しい伊豆創造センター等の広域団体及び事業への参画 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
管内での MICE 開催件数	26 件	43 件
管内での MICE 参加者数	12,312 人	20,800 人
管内での MICE 延宿泊数	7,631 泊	8,940 泊

3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

3-1 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現



(1) 施策の方向

仕事と家庭が充実し、健康で心豊かに暮らせるよう、女性活躍の推進や柔軟な働き方の普及など、誰もが働きやすい職場づくりに取り組むとともに、スポーツなどを通じた心と体の健康づくり活動を促進します。

数値目標	基準値 (R2)	KPI (重要業績評価指標 R7)
男女共同参画推進事業所認定数	91 事業所	115 事業所

(2) 具体的な取組

3-1-① 男女共同参画の推進【再掲】	地域自治課	
<p>地域・事業所・教育及び家庭などのあらゆる分野において男女共同参画の機運醸成や女性活躍の推進を図るとともに、全ての人が対等な関係で協力し合い、共に責任を担って心豊かに暮らしていくことのできる「男女共同参画社会」の実現を目指します。</p>		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 沼津市男女共同参画基本計画に基づく施策の推進 ● 男女共同参画推進委員会の開催 ● 「男女共同参画推進事業所」の登録促進 ● 児童・生徒に対する「職業講話」、各地区における「地域づくり講座」、性別、年代、職域等の属性に配慮した「企画・セミナー」の実施 		
数値目標	基準値 (R2)	KPI (重要業績評価指標 R7)
男女共同参画推進事業所認定数	91 事業所	115 事業所
市審議会等への女性登用率	女性登用率 29.2% (R1)	女性登用率 35%

3-1-② 健康づくりの推進		健康づくり課
<p>生活習慣病に対する一次予防として、市民が自らの生活習慣を見直し、その改善に向けた自発的な健康づくりを行えるよう健康意識の向上を図るとともに健康づくりの活動機会を提供します。また、市民のこころのケアの充実とこころの健康づくりに関する普及啓発に努めます。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の健康づくり推進員（リーダー）の育成、地域や事業所における健康づくり活動への支援 ● 正しい健康情報の提供・知識の普及・啓発 ● 健康づくり活動に取り組む機会の提供 ● 自殺対策行動計画に基づく事業の推進 		
数値目標	基準値（H30）	KPI（重要業績評価指標 R5）
メタボリックシンドローム該当者の割合	17.9%（R1）	17.6%（R6）
脂質異常者の割合	55.0%	53.5%
血糖異常者の割合	10.3%	9.5%

3-1-③ いきいきスポーツの推進		ウィズスポーツ課
<p>子どもから高齢者までの誰もが心身ともに健康で明るく元気に生活できるよう、スポーツを通じた幸福で豊かな生活を実現するため、地域における人々のスポーツ機会の確保・充実を図ります。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域体力づくり教室の開催 ● 生涯スポーツ指導者の育成 ● 運動・スポーツの継続機会の創出 		
数値目標	基準値（H30）	KPI（重要業績評価指標 R10）
スポーツ実施率(週1回以上運動した人の割合)	29.3%	65%

3-2 若い世代の経済的安定



(1) 施策の方向

結婚・出産・子育てへの若い世代の経済的な不安を解消するため、若年者の就労を支援するとともに、こども医療費の無償化や不妊・不育症治療費の助成などの支援策により、若い世代の経済的負担の軽減を図ります。

数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
沼津しごと応援事業により市内企業に就職した数	12人	延べ100人

(2) 具体的な取組

3-2-① 沼津しごとの応援【再掲】		商工振興課
市内の企業の魅力を発信し、若年者の就労支援や学生の地元企業への就職誘導に努め、人材を求めている企業の安定した雇用の確保を図り、力強い産業を牽引するまちづくりを進めます。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 市内企業に特化した就職支援サイト「ぬま job」の運営 ● 合同就職面接会の開催 ● キャリアデザイン相談センターによる伴走型就職支援 ● 企業の魅力を高める働き方改革セミナーの開催 ● 女性向けのワーク・ライフ・バランスセミナーの開催 ● 奨学金返還支援制度の実施による UIJ ターン就職の推進 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
本事業により市内企業に就職した数	12人	延べ100人

3-2-② 不妊・不育症治療費の助成		健康づくり課
不妊・不育症治療を受けた夫婦の経済的負担の軽減を図るとともに、少子化対策の一環として出生数の増加を図ります。		
取組内容		
不妊・不育症治療費のうち、静岡県特定不妊治療費の補助金等を控除した額を助成		
<ul style="list-style-type: none"> ● 特定不妊治療費助成 ● 一般不妊（人工授精・その他）治療費助成 ● 不育症治療費助成 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
不妊・不育症治療を受けた人の妊娠者数	82件	100件

3-3 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援



(1) 施策の方向

結婚したい、子どもが欲しいという若い世代の希望がかなえられるように、結婚・妊娠・出産・子育てに関する適切な指導や的確な情報提供、各種助成制度やワンストップ相談窓口による産前産後のケアなど、切れ目のない支援の一層の充実を図ります。

数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
婚姻数	912 件	1,000 件

(2) 具体的な取組

3-3-① 出会い応援・結婚新生活支援		政策企画課
結婚を望む独身男女の婚活や結婚新生活を支援することにより、本市の若者の未婚化・晩婚化の流れを変え、少子化の進行の抑制を図ります。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 婚活イベントの開催 ● 沼津市婚活支援サイト「沼津の出逢い応援課」の運営 ● 沼津市公認婚活サポーター「縁結び隊」による結婚相談の実施 ● 新婚世帯に対する新生活に係る費用の助成 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
婚姻数	912 件	1,000 件

3-3-② 不妊・不育症治療費の助成【再掲】		健康づくり課
不妊・不育症治療を受けた夫婦の経済的負担の軽減を図るとともに、少子化対策の一環として出生数の増加を図ります。		
取組内容		
不妊・不育症治療費のうち、静岡県特定不妊治療費の補助金等を控除した額を助成		
<ul style="list-style-type: none"> ● 特定不妊治療費助成 ● 一般不妊（人工授精・その他）治療費助成 ● 不育症治療費助成 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
不妊・不育症治療を受けた人の妊娠者数	82 件	100 件

3-3-③ 妊娠・出産の包括支援		健康づくり課
<p>妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行うワンストップ相談窓口として子育て世代包括支援センター（母子保健型）「マミーズほっとステーションぬまづ」を運営し、安心して子どもを産み、子育てしやすい環境を整備します。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 利用者支援事業（母子保健コーディネーター相談支援、プラン作成、ハイリスク妊婦の管理・支援） ● 産後ケア事業（ショートステイ、デイケア、訪問型育児支援） ● 産前産後サポート事業（おっぱいフォロー事業、赤ちゃん Day、パパとママの教室、産後ママのリフレッシュ講座） ● 子育て世代包括支援センター（基本型）、こども家庭総合支援拠点との連携 		
数値目標	基準値（R1）	KPI（重要業績評価指標 R7）
産後ケア利用者数（年間実数・産婦の利用割合）	28 件・約 2%	50 件・5%

3-4 子ども・子育て支援の充実



(1) 施策の方向

子育て世代が“子育てが楽しいまち”と発信でき、子育てしやすい環境にあるという認知度が高まるように、多面的かつ効果的な子育て支援サービスの更なる充実を図るとともに、地域で子育てを支える仕組みづくりを進め、安心して子育てができる環境を整備します。

数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
保育所入所待機児童数	15 人	0 人

(2) 具体的な取組

3-4-① 多様な保育サービス		子育て支援課	
民間保育所等への支援による延長保育や病後児保育サービス等の充実や、待機児童対策の実施により、保護者の多様な保育ニーズに対応し、安心して子育てができる環境整備を図ります。			
取組内容			
<ul style="list-style-type: none"> ● 民間保育所等に対する支援による延長保育や休日保育、乳幼児保育、一時保育、病後児保育などのサービスの充実 ● 待機児童等対策事業の実施 			
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)	
保育所入所待機児童数	15 人	0 人	

3-4-② 地域子育ての支援		子育て支援課	
子育て支援施設における一時預かりや育児相談の実施、地域における子育て活動団体の支援などにより、家庭における子育てを地域や行政がサポートし、安心して子育てができる環境整備を図ります。			
取組内容			
<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て支援施設における一時預かり保育、乳幼児・保護者同士のふれあいの場の創出・育児相談の実施 ● 子育てサポートキャラバンの実施 ● ファミリーサポートセンターの運営 			
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)	
子育てしやすい環境にあると感じている市民の割合	74.7%	80%	

3-4-③ みんなで子育て支援		こども家庭課
<p>18歳未満の児童を養育する保護者等が、安心して子育てができる環境を整備するとともに、ひとり親家庭及び近くに支援者がおらず子どもの養育に困っている家庭等のサポート体制を整え、子どもの健やかな成長の実現を図ります。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 児童扶養手当受給者世帯の放課後児童クラブ利用料の減免 ● ひとり親家庭等の児童を対象に学習支援等の実施 ● 放課後児童クラブ終了後等に誰もが参加できる居場所づくりのコーディネート及び地域のNPO等による運営の実現、新規に居場所づくりを始める団体への補助支援 ● 妊産婦から1歳までの乳児のいる家庭への訪問型家事支援事業の実施、子どもの養育に困っている家庭への育児支援サポーター派遣事業の実施 ● 保護者が一時的に養育困難になった家庭への一時預かりの実施 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
児童ショートステイ事業	56人/年	224人/年
ひとり親世帯を対象とした支援制度の認識度	—	25%

3-5 沼津らしい子ども教育の更なる推進



(1) 施策の方向

本市では、夢ある人を育てるため、コミュニケーション能力の基礎となる言語教育や、地域性や個性を活かした特色ある学校独自の取組の推進、小中一貫教育や中高一貫教育による連続性を考慮した独自の取組を推進してきました。グローバル化や技術革新が進展する中、沼津らしい子ども教育の充実を図り、未来を担う子どもの育成を「地域総がかり」で推進します。

数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
特色ある教育活動が行われていると感じている保護者の割合	87.6%	90%

(2) 具体的な取組

3-5-① 学校教育・家庭教育の「地域総がかり」による推進		学校教育課、生涯学習課
<p>「地域総がかり」で子どもたちを育てることができるよう、コミュニティ・スクール (CS) 及び地域学校協働本部を順次導入し、学校と地域の連携協働に向けた体制の整備を図ります。また、各小中学校における地域の資源・人材の活用、各種支援員の配置による教職員が授業に専念できる環境の確保、子育てに不安を抱える若い世代に対する家庭教育の充実を図ります。</p>		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 各学校が独自に実施する地域資源・人材を活用した事業、キャリア教育に係る事業の促進 ● 支援員 (児童生徒・図書館・外国語児童等)・部活動指導員の配置 ● 学校運営協議会及び地域学校協働本部設置校区の段階的拡大 ● 家庭教育講座の開催、家庭教育支援チームの派遣 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
住んでいる地域への関心が高まっている小中学生の割合	84.6%	90%
特色ある教育活動が行われていると感じている保護者の割合	87.6%	90%
学校運営協議会及び地域学校協働本部設置校区の割合	12% (2校区 : R2)	100% (17校区)
家庭教育講座受講者数	238人	1,100人

3-5-② 言語教育による読解力・表現力の育成

学校教育課、生涯学習課

小学校低学年からの ALT 参加授業をはじめ、これまで本市において取り組んできた言語教育の推進の結果現れてきた児童生徒の「聞く力」「話す力」の更なる向上を図りつつ、コミュニケーション能力や感性・情緒の基盤である言語（読解・英語）の能力を育成するため、小中一貫教育による小中で継続したカリキュラムの下、言語教育の充実を図り、「誇り高い沼津を創造する貴き志を持つ人づくり」を推進するとともに、沼津市教育大綱に示された「知・徳・体＝人間力を磨く教育」を実践します。

取組内容

- 言語科によるコミュニケーション能力の育成
- 学習指導要領に基づき授業が行われる小学3年生以上に加え、小学1・2年生に対してもALTを配置
- 英語コミュニケーション能力向上にむけた新手法（沼津市独自の英語パフォーマンステスト）の教育活動への導入
- 学校司書の配置による読書活動の推進
- 小中一貫教育による継続したカリキュラムに基づく授業の実施

数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
コミュニケーション能力が向上していると思う子ども、保護者、教員の割合	83.7%	95%
一人あたりの図書貸出数	39.8冊	45冊
「授業が分かる」と感じている小中学生の割合	91.9%	95%
全国学力調査（英語）	県・全国平均を上回る	県・全国平均を上回る

3-5-③ ICT 活用教育の推進		学校教育課
<p>ICT 活用教育の実践に必要な機器の維持とともに、教員の ICT 活用スキルの向上、授業における実践等により、将来「Society5.0」の時代を生きることになる児童生徒が社会で生きていくために必要な資質としての情報活用能力の育成を図ります。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 学校教員の ICT 機器の日常的活用能力の育成 ● リモート会議システム等、新たな教材・ツールを活用した効果的な授業の実現に向けた調査研究・実践 ● 児童生徒の年齢階層に応じた情報モラル教育等の推進 ● ICT 環境の維持・更新 		
数値目標	基準値 (R2)	KPI (重要業績評価指標 R7)
教職員に対するアンケート (「教職員に対する研修が十分行われている」)	未実施	90%
児童生徒に対するアンケート (「担任の教師が ICT を十分活用している」)	未実施	90%

3-5-④ 高校生しゃべり場 in ぬまづの開催		生涯学習課
<p>高校生に自由に発言できる場を提供し、高校生自身が社会に関心を持ち、課題を見つけ、どのように解決するかを考える力の向上を図るとともに、その様子を一般市民が傍聴することで、世代間の考え方の違いを柔軟に受け入れてもらうようにします。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各高校から選出された生徒と公募参加者によるディスカッションの実施 ● 当事業の参加者を中心に結成された高校生の自主活動団体「沼津ハイポート」の活動支援、イベント等への参加促進 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
高校生 (ハイポート) の自主活動の回数	1 回	3 回

4 新しい時代に合った、安全・安心で誰もが暮らしやすい地域をつくる

4-1 災害に強い安全・安心な生活環境づくり



(1) 施策の方向

大規模災害発生時には、地域の住民による防災活動が重要となるため、地域防災を担う人材育成や災害種別の避難行動計画の策定、感染症対策や女性の視点を踏まえた避難所運営マニュアルの策定支援など、地域防災力を強化し、災害に強い安全・安心な生活環境づくりを進めます。

数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
災害に備えている市民の割合	52.1%	60%
津波避難困難地区の解消	6 箇所	0 箇所 (R4)

(2) 具体的な取組

4-1-① 安全な地域づくりの推進	危機管理課	
地震・津波をはじめとした様々な災害からの減災対策の推進により、災害に強いまちづくりを進め、安全・安心で快適に暮らせるまちの実現を目指します。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域ごとに各種災害による被害想定を醸成するためのワークショップの開催 ● ワークショップでの成果を基に地域ごと災害種別の避難行動計画（マップ等）の策定 ● 避難行動計画の地域住民への周知 ● 津波避難施設の整備（津波避難ビルへの手すり設置、津波避難路修繕、太陽光照明の設置等） ● 津波避難困難地区解消のための検討（新たな津波避難ビル指定の検討等） 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
地域別災害避難行動計画作成率	43%	100%
津波避難路の点検及び再整備の割合（全 105 箇所）	79%	100% (R4)

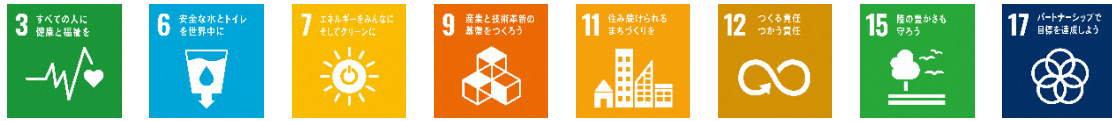
4-1-② 自主防災会の活性化		危機管理課
<p>自主防災会が行う訓練や災害時に使用する資機材の整備を支援するとともに、各連合自治会の防災指導員を中心に、様々な訓練や研修を実施し、自主防災会の防災意識の高揚や組織の充実・強化を図ります。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自主防災会の充実、強化を図るため、運営及び資機材等整備への支援 ● 自主防災会に対する防災講座や防災指導員研修の実施 ● 感染症対策や女性の視点を踏まえた避難所運営マニュアル策定の支援 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
自主防災組織による避難所運営マニュアル策定数	30 箇所	49 箇所

4-1-③ 地震防災の啓発		危機管理課
<p>市民に対して、いつ災害が発生しても最適な対応ができるように、防災啓発事業をさらに活性化し、市民の自助力向上を図ります。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 防災意識の持続を図るための出前講座や防災講座等の開催 ● 「地震防災強化月間」や「防災とボランティア週間」等における啓発活動の実施 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
防災講座等年間参加者数	3,350 人	5,500 人

4-1-④ 総合的治水対策の整備		河川課
<p>常襲浸水地域において、浸水被害の軽減を図り、災害に強く、安全・安心で快適に暮らせるまちづくりを進めます。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 常襲浸水地域の排水機場や雨水貯留池及び河道改修などの整備 ● 排水機場長寿命化計画による効率的な維持管理及び施設更新 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
床上浸水被害想定件数の削減	30 件	0 件

4-1-⑤ 観光拠点における来訪者の安全確保		観光戦略課
<p>観光施設の計画的な修繕計画により、施設利用者が安全で安心して楽しめるよう、適切な管理、運営及び修繕を実施し、観光交流客数の拡大を図ります。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 観光施設における修繕計画の策定 ● 観光施設（資源）の適切な管理運営 ● 誘客向上のための PR ● アフターコンベンションへの対応、受入 ● 外国人へのおもてなし環境の整備 ● 災害時の救援物資集積所等の運用にかかる関係課との連携 		
数値目標	基準値（R1）	KPI（重要業績評価指標 R7）
大規模修繕・工事総数	2 件	延べ 16 件

4-2 便利で快適な居住環境の整備



(1) 施策の方向

体系的な交通網の整備や公共交通機関の連携強化など、市民のみならず訪れた人にも利用しやすい交通環境を整備するとともに、新中間処理施設の整備や市営住宅今沢団地の建て替えなどを進めることにより、便利で快適な居住環境を創出します。

数値目標	基準値 (H30)	KPI (重要業績評価指標 R7)
公共交通利用者数	45,837 人	45,900 人

(2) 具体的な取組

4-2-① 公共交通ネットワークの形成【再掲】	まちづくり政策課	
市民や交通事業者など多様な関係者と連携し公共交通の利便性を高め、誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの形成や利用環境の整備を図り、本市が目指す持続可能な都市構造「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを推進します。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域公共交通計画の推進（利便性向上及び利用促進に係る各種施策の展開） ● 沼津市地域公共交通協議会、部会の運営 ● 自主運行バスの運行 ● ミューバス（片浜駅・原駅循環）の運行補助 		
数値目標	基準値 (H30)	KPI (重要業績評価指標 R7)
公共交通利用者数	45,837 人	45,900 人

4-2-② 沼津駅周辺総合整備【再掲】	推進課、整備課、 沼津駅周辺区画整理事務所	
沼津駅周辺の鉄道高架化により南北交通の円滑化と南北市街地の一体化を図り、都市基盤の強化と中心市街地の活性化を進め、静岡県東部地域を牽引し、魅力あるにぎわいのまちを創出します。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 鉄道高架事業（鉄道高架区間 L=5.3km、車両基地・貨物駅移転） ● 移転先周辺整備事業（片浜西沢田線 L=0.9km、周辺道路整備 L=5.8km、緑地調整池整備） ● 沼津駅周辺土地区画整理事業（沼津駅南・東部拠点第二地区）（施行面積 33.7ha、建物移転戸数 235 戸） 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R8)
片浜西沢田線の整備	0km	0.9km
移転先周辺の基盤整備	0ha	3.5ha

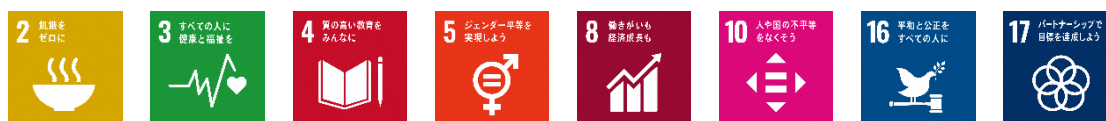
4-2-③ 総合体育館等の整備【再掲】		総合体育館整備室
都市機能を集約し、狩野川や香貫山などの地域資源との連携が図られた「健康・文化・交流ゾーン」を形成することで、居心地よく質の高い都市空間づくりを進め、ヒト中心で都市的魅力にあふれるまちの実現を目指します。		
取組内容		
● 香貫駐車場、総合体育館及び広場等外構の設計、建設、維持管理、運営をPFI（BT0）方式により実施		
数値目標	基準値（R1）	KPI（重要業績評価指標 R7）
総合体育館の年間利用者数	241,398人	400,000人（R5年度以降）

4-2-④ 中間処理施設の整備		新中間処理施設整備室
老朽化した施設に替わる、新しい技術を活用した、より安全で環境負荷の少ない新中間処理施設を整備し、資源循環型のまちづくりを推進します。		
取組内容		
● 可燃ごみ等を衛生的、安定的に処理するとともに、発電等により熱エネルギーを効率的に利活用するごみ焼却施設の建設		
● 埋め立てごみのさらなる資源化の推進と資源化物の効率的かつ経済的な処理等を実現するリサイクル施設の建設		
● PFI等による事業手法の導入を検討		
数値目標	基準値（R2）	KPI（重要業績評価指標 R11）
新処理施設整備	0%	100%

4-2-⑤ 空き家対策の推進【再掲】		まちづくり指導課
増加傾向にある空き家の適正管理や有効活用により、既存ストックの活用を図るほか、管理不全な空き家の除却を促進し、市内の居住環境向上と都市的魅力にあふれるまちづくりを進めます。		
取組内容		
● 空き家の発生抑制に向けたワンストップ相談会の開催、出前講座への出席、パンフレット作成・配布		
● 空き家の適正管理・有効活用に向けたデータベースの整備、空き家バンクの運営、空き家活用定住支援補助金交付制度の運用、空き家等のリノベーション		
● 特定空き家に対する指導、不良住宅の解体費助成、財産管理人制度の活用		
数値目標	基準値（R1）	KPI（重要業績評価指標 R7）
管理不全な空き家の削減数	延べ168件	延べ320件

4-2-⑥ 沼津市営住宅今沢団地の建替え		住宅営繕課
<p>少子高齢化や施設の老朽化などの課題に対応するため、市営今沢団地の建替えにより、快適で安心・安全に暮らせる居住環境の整備を進め、魅力あふれるまちを目指します。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 需給動向に応じた管理戸数や住戸タイプの供給（17棟 316戸から4棟 275戸程度へ建替え、敷地面積約2万㎡） ● ユニバーサルデザインを基本とした施設整備 ● 若者世帯等を対象とした優先入居制度の導入 ● 地域づくりに貢献できるような福祉施設等の導入 ● 災害対策を考慮した施設計画 ● 周辺環境と調和した団地づくり ● 民間活力の導入 		
数値目標	基準値（R1）	KPI（重要業績評価指標 R13）
今沢団地整備率	0%	100%

4-3 共に支え合う地域コミュニティの充実



(1) 施策の方向

自治会や地域コミュニティなどが地域の特性を活かし自主的に取り組む活動を支援するとともに、地域防犯活動の推進や高齢者の生きがいくくりと社会参画の推進、多文化共生の推進を図り、共に支え合う地域づくりを進めます。

数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
地区センターにおけるコミュニティ利用件数	3,750 件	4,000 件

(2) 具体的な取組

4-3-① 地域コミュニティの活性化		地域自治課
地域コミュニティにおける地域特性を活かしたまちづくり活動の支援や人材の育成、活動の見直しを支援することにより、地域コミュニティの維持・強化を図ります。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域活性化事業補助による地域資源を活かした地域活動の支援 ● 地域コミュニティを担う人材の育成に向けた講座の開催及び地域相互の学び合い、磨き合いを促進する事例発表会の開催 ● コミュニティリーダー育成支援事業補助によるコミュニティカレッジ受講生の派遣支援 ● 地域コミュニティ事業補助によるコミュニティ活動に必要な備品整備等の支援 ● 地域コミュニティとの連携促進に向けた連携内容の整理と見直し 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
地区センターにおけるコミュニティ利用件数	3,750 件	4,000 件

4-3-② 防犯のまちづくり		生活安心課
誰もが安心して暮らすことができるよう、警察・地域・行政が連携して、市民総ぐるみで防犯まちづくりを推進し、犯罪のないまちの実現を目指します。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 自治会等への地域防犯関連設備への助成（防犯灯、放送設備、防犯カメラ、青色回転灯等） ● 市民、事業者の防犯意識向上、地域防犯活動の参画促進（ながら見守りの普及等） ● ICT を活用した地域防犯活動の検討（人手不足の補完等） 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
市内刑法犯認知件数	1,421 件	1,200 件

4-3-③ フレイル対策の推進		長寿福祉課
<p>高齢者のフレイル対策、生きがいづくり及び社会参画の推進により、高齢者の健康寿命の延伸を図り、笑顔があふれ健康で心豊かに暮らせるまちづくりを進めます。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● フレイル予防啓発による自発的な健康づくりの推進 ● フレイルチェックの実施体制の確立及び実施主体の包括への順次移行 ● 生きがいづくりと居場所づくりの推進 ● 自らが担い手となって社会参画する機会の充実 ● 各種介護予防事業の実施 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
フレイルチェックの参加人数	55 人	440 人
フレイルチェックに2回以上参加した方の意識・行動変容	59.8%	70%

4-3-④ 高齢者地域包括ケアシステムの整備		長寿福祉課
<p>認知症、地域課題及び単身高齢者の孤立等、超高齢化社会における諸問題に対し、地域包括ケアシステムの強化・推進を図ることで、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるまちづくりを進めます。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域での連携・協働及び在宅医療・介護連携の推進による地域包括ケアシステムの強化 ● 認知症高齢者等にやさしい地域づくりに向けた支援 ● 地域課題の把握とサービスの創出・担い手の育成 ● 見守りの強化等による単身高齢者等の孤立防止 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
全国統一の評価指標による地域包括支援センターの事業評価	644.9 点	665 点

4-3-⑤ 地域福祉の推進		社会福祉課
<p>子ども・高齢者・障害者などすべての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現を目指して、すべての住民が役割を持ち、支え合いながら活躍できる地域コミュニティを育成し、地域で課題を受け止め、公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことができる包括的支援体制を整備します。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 住民参加型在宅福祉サービス事業（ちょいてつサービス事業）の実施 ● 地区社協や、介護家族の会等、当事者組織の活動支援 ● 地区社協や自治会を中心とした、地域住民による見守りネットワークの推進 ● 福祉施設職員を対象とした研修交流会の実施 ● ボランティア養成講座の開催 ● ボランティア活動の推進、支援 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
ちょいてつボランティア利用登録者数	20 人	延べ 100 人
ちょいてつボランティア利用回数	148 回	延べ 750 回

4-3-⑥ 民間支援まちづくりファンド		地域自治課
<p>意欲ある市民や事業者が自発的に行う新たな取組や、人と人をつなげる交流の場づくり等を支援していくことにより、誰もがいきいきと輝き躍動できる場づくりを進め、自分らしいライフスタイルの実現を目指すとともに、多様性と魅力ある持続可能なまちづくりを進めます。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民等の自発的な活動に対するソフト・ハード両面からの補助金支援、選考段階での専門家の助言等による持続的な事業の創出 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R5)
ソフト事業における持続的な活動事業者（個人・団体）数	8 事業者	延べ 18 事業者

4-3-⑦ 多文化共生の推進		地域自治課
多文化共生の推進により、多様性を認め合い尊重するまち及び自分らしいライフスタイルを実現できるまちの実現を目指します。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 多言語相談窓口の運営 ● 日本語教室の実施 ● 国際交流フェアの開催 ● 外国人向け防災講座の開催 ● 多文化共生ボランティア制度の運営 ● 外国人住民向け SNS による情報発信 		
数値目標	基準値 (R2)	KPI (重要業績評価指標 R7)
沼津市が住みやすいと感じる外国人住民の割合	未実施	R3 実績値の 20%増

4-4 新しい時代の流れを活用する



(1) 施策の方向

SDGs の理念である「誰一人取り残さない社会の実現」に向けて、市民や事業者と意識を共有して持続可能なまちづくりを進めるとともに、ICT 等の最先端技術を活用して市民サービスの向上や地域課題の解決、産業振興を図ります。

数値目標	基準値 (R2)	KPI (重要業績評価指標 R7)
スマートシティ関連プロジェクト数	0 件	延べ 12 件

(2) 具体的な取組

4-4-① 自然環境の保全		環境政策課
「ぬまづ生物多様性地域戦略 (第 2 次環境基本計画)」に基づき、生態系の調査や、市民や事業者による自然環境保全活動の推進、特定外来生物への対応策について研究し、本市のかけがえのない自然環境を未来の子ども達に残していきます。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● 特定地域における希少種等の調査 ● 自然環境を活用した環境教育 ● 市民等への啓発 ● 隣接自治体、事業者、市民団体等との連携による特定地域の環境保全活動の推進 ● 特定外来生物等への対応 		
数値目標	基準値 (R3)	KPI (重要業績評価指標 R7)
特定地域における希少種の減少率	調査において確認された希少種の数	0% (R3 と同数)

4-4-② 3R の推進		クリーンセンター管理課
3R (リデュース:発生排出抑制、リユース:再使用、リサイクル:再資源化) に対する市民等の意識向上を図り、ごみの減量及び資源化を推進し、低炭素で循環型のまちづくりを進めます。		
取組内容		
<ul style="list-style-type: none"> ● SDGs を意識した環境教育 ● リデュース (生ごみの発生排出抑制の推進、ごみ減量に対する啓発・情報提供) ● リユース (再使用の推進) ● リサイクルの推進 (廃食油、小型家電等) 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
一人一日当たりごみ排出量	875g	864g

4-4-③ スマートシティの推進		政策企画課ほか
<p>鉄道高架事業をはじめとする各種都市基盤整備の進捗により、本市の新たな都市骨格の具現化が進む中、整備されたまちの上に「ヒト中心のまち」の実現に向けた市民のQOL (Quality of Life) の向上を図るソフト施策を展開するため、ICT 等の先端技術を活用したスマートシティの取組を推進します。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 産学官による推進協議会の設置 ● 沼津市版スマートシティの推進ビジョンの策定 ● 推進ビジョンに基づく施策の実現・推進 ● スマートシティ推進に係る機運の醸成 		
数値目標	基準値 (R2)	KPI (重要業績評価指標 R7)
推進ビジョンに基づくプロジェクト数 (実証実験を含む)	0 件	延べ 12 件

4-4-④ 行政 ICT 利活用		政策企画課、ICT 推進課、人事課
<p>多様な働き方への対応としてのテレワーク導入のために業務の見直し、簡素化を実施するとともに、窓口業務改革、RPA、オンライン会議等のデジタル技術導入により職員の業務負担を軽減し、それにより捻出した人的資源を適切に配置することで市民サービスの向上を図ります。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 総合窓口の設置に向けた調整 ● 担当課の RPA 導入作業支援、行政手続等電子申請化の推進、オンライン会議実施の支援 ● テレワークの実施体制整備 		
数値目標	基準値 (R1)	KPI (重要業績評価指標 R7)
削減業務時間	0 時間	1,460 時間

4-4-⑤ キャッシュレス決済導入の推進		商工振興課
<p>キャッシュレス決済を導入することで、新たな生活様式に対応した衛生的で安全な環境づくりを推進するとともに、決済の利便性向上によりインバウンド需要の取り込みも図ります。</p> <p>国、県の取組と連携し、個々の店舗の経営状況にあった決済方法を導入するきっかけづくりを行います。</p>		
<p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● セミナーの開催 ● 相談窓口の設置 		
数値目標	基準値 (R2)	KPI (重要業績評価指標 R7)
導入件数 (セミナー参加者)	0 件	延べ 100 件